

久美浜学園保幼小中一貫教育だより

くみはまこういゅうかぶと山



久美浜学園保幼小中一貫教育

久美浜学園ホームページ：各学校園所の様子を掲載
「久美浜学園保幼小中一貫教育」で検索、スマホでも閲覧可能

久美浜学園事務局R5.3.9.No.10
(☎82-0079(久美浜中内))

第3回学校運営協議会2/21開催

今年度は、3回の協議会を通常通り対面で実施していただきました。3回ともに熱心な協議をしていただきました。たくさんの貴重な意見を出していただき、学園、学校、園所の活動の改善につながりました。また、地域でも、様々な取組をしていただき、子どもの健全育成に結び付けていただきました。（内容が多すぎて、文字ばかりの紙面になりましたが、報告します。）

開 会 挨拶

（協議会長）協議会は今年で6年が過ぎ、「学校の応援団」として活動し機能することを目指してきた。いわゆる有事の状況でなくむしろ平時（学校や園所が落ち着いた中での教育活動）の中での役割を果たしてきた。学校としっかり連携し、課題を共有し、風通しの良い関係を保持してきた。今後も、学園の活動に意見を述べるとともに、協議会の活動のまとめや課題を整理し、連携協力を進めていきたい。

（学園長）コロナ禍の中、それぞれの学校、園所で工夫を凝らし充実した活動をやりきることができた。一つ一つの取組の価値やかかわりの大切さと価値を改めて再認識することができた。学校運営協議会は、今やなくてはならない存在となっている。学校園所の「応援団」であるとともに久美浜の保育や教育、子育てを支える中枢、頭脳であるべき。学園の方針への承認や助言、アドバイスとともに、委員の方々の温かさや熱量の高さに私たちが支えられているということを実感した1年だった。

・コロナ禍でも、工夫し、学園行事（教職員の協働）、大きな園所学校行事をたくさん実施でき充実した。/・体験授業などの子どもの交流行事が多くできた。実施できない場合は、DVD視聴などで工夫した。/・地域での学習や活動を各校園所で数多く実施できた。/・PTA保護者会あいさつ運動、家庭学習がんばり週間の取組など、地域保護者と一体となった活動が充実した。/・登下校の見守り活動は、全小学校区で、継続して行っていただいた。/・地域遊び教室は、徐々に復活しつつある。/・バイパス開通式などいくつか子どもと地域と関わる活動ができた。/・学校支援ボランティアは、派遣日数100日、延人数145名の実績となった。大変多くの方に、学校園所に関わっていただいた。

学 園 活 動 報 告

グ ル ー プ 協 議



・子育て支援センターに委員として手伝いに行き、若いお母さんと話せてうれしい。小さい時から地域で見守ってあげることが大切だと思う。不登校から引きこもりになった青年を思うと、もっと何かしてあげられなかったかと思う。
・遊びの教室など、地域の中で子どものための活動が続いている久美浜はすごい。
・見守り活動をしているが、私の地域は4人になった。あいさつは大きな声でしている。下校で1人になる場合がある。そんな時は例外でバスに乗せてほしい。
・地域で数年ぶりのスキー教室を実施できた。小3～小5まで18名の子どもたちが参加し、スキーを楽しんだ。地区運動会もできていない中、とてもよかった。

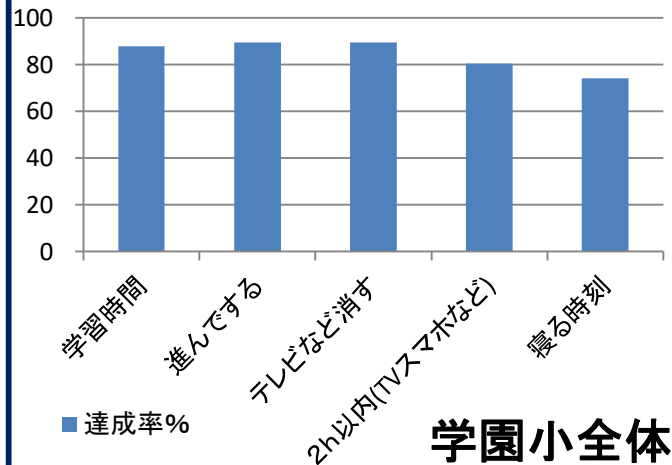
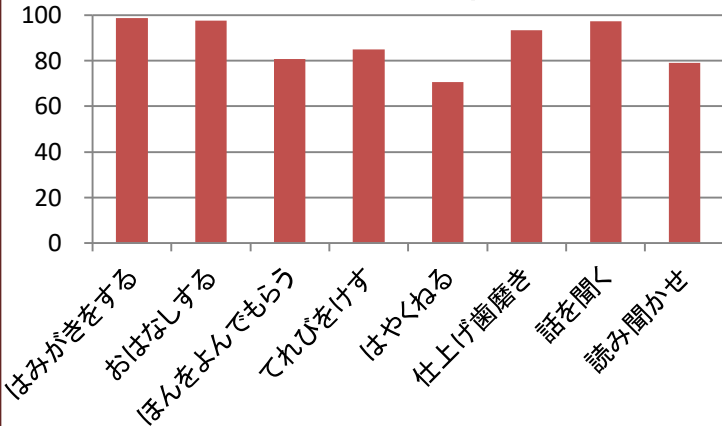
・子どもを交えて地域の将来についてのワークショップ、子育て交流会などを行っている地域があるが、地域で何が担えるかという意見をたくさん聞かせてほしい。
・学園10年近くなる。コロナはあったが、いよいよ取組も軌道に乗る。改めて地域との関わりを持つなど見直しの時期に入っている。
・10年間の見守り隊は重要だった。改めてコロナの3年間をどうだったか振り返りたい。平時のやり方を考えていく必要がある。
・区長、民生委員などいろいろあり忙しい年だった。学校とも関わり、先生たちの苦労も分かった。授業参観もさせてもらいファミリー的で楽しい感じがした。

・保護者授業をしたが、自分の思い出となった。親の仕事を知るよい機会となる。
・何か久美浜町で作ってあげたい。思い出となり、久美浜に帰ってきたいと思えるものがあればよい。大人同士のつながりがあれば、子どももつながれる。
・会議の中では盛り上がるが、地域の中には無関心な層も多い。担当は頑張っているが、だんだん高齢となっている。
・地域の子どもの数が少なく、スクールバス通学もあり子どもを見る機会が減ってしまった。支援ボランティアの活動で、子どもたちが人の良さに触れている。活動日数や延べ人数が多く、発展し充実している。

第3回家庭学習がんばり週間のまとめ2/15~2/21

今年度3回の家庭学習がんばり週間をお世話になりました。「家庭学習時間の確保」は久美浜学園が始まった当初からの重点課題(学力向上)の一つにあげられています。最初はバラバラだった小学校の点検項目も統一し、園所の取組も始まり、学園PTA・保護者会も取組に加わり、久美浜町の子どもいる全家庭で行われてきました。家庭学習は、学年が進むほど重要になってきます。中学生になると、どれだけ家庭学習できるかでテストの点が左右されることもあります。それこそ3年生になると、テスト期間の2週間で40時間、50時間と学習をする生徒も多くいます。この力をつけるためには、もちろん子ども自身のやる気も必要ですが、学習できる家庭環境を整備することも重要です。だからこそ、小さい頃から家族で学習する雰囲気を作り上げていかなくてはならないのです。学園全体で、園所3歳から中3までみんなでき取り組む意義は、とても大きいと思います。

保育所園全体 ■達成率%

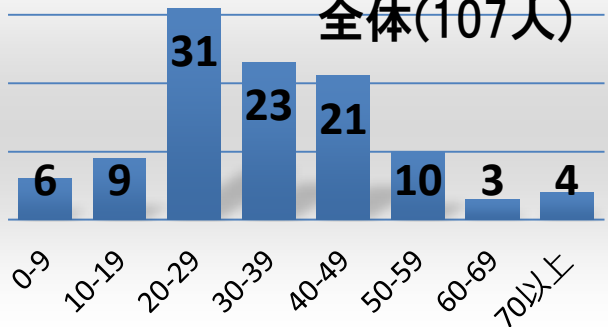


・過去1(番)頑張った。計画をしっかり実行できた。次も頑張りたい。○これまでで一番よく勉強していました。初めに計画を立てたのも良かったのかもしれない。少しでも成果が出たら良いと思います。

・目標より全体的に点数が低かったし、前回より合計点が下がったと思うから、次はもっと頑張りたい。○集中するために「携帯やゲームを預かって」と預けてきましたね。自分で考えて行動できるようになり気合いを感じています。やっても結果が出ない時もあるけれど、信じて続けよう。

※今回は、中学2年生の感想を2つ紹介します。今回、かなり学習時間を伸ばした生徒が多くいました。来年は、受験の3年生で、気合いを入れて学習を進めていました。(○からは保護者)

久美浜中1年2年 全体(107人)



ペットボトルキャップをもって中学校へやってきました。



3/3には、高龍小学校の子どもたちが、持って来てくれました。他の小学校も、一緒に集めています。

2/28に、かぶと山こども園と久美浜保育所の5歳の子どもたちが、中学校にやってきました。自分たちで集めたペットボトルキャップを届けてくれました。中学生も多くの生徒が集まり、昇降口前は、大盛り上がりとなりました。この日は来られませんが、こうりゅう虹こども園も、機会あるごとに中学生に渡してくれています。